

私たちの町議会 りくべっ

No. 118

発行月日・令和6年11月15日
編集・議会運営委員会
発行・北海道陸別町議会

9月定例会

陸別町議会9月定例会は、9月3日から11日まで、その内の4日間開かれました。今定例会では、委員の選任2件、町道路線の廃止1件、補正予算案5件、意見書案1件を同意または可決し、令和5年度決算全7会計を全て認定し、閉会しました。

陸別中学校制服購入費助成事業 《令和7年度から制服を変更》



◀ 新制服着用例

陸別中学校の制服は、男子は学生服、女子はセーラー服であったが、多様な性のあり方を認めあう学校環境の実現に向け、生徒が自分らしくいられる制服とするためなどを目的に、制服を変更する。

制服変更に伴う制服購入費の保護者負担軽減及び来年度の入学式に、全学年の生徒が新制服を着用できるようにするため、制服購入費全額を補助する。

補正予算質疑から

Q 新制服の購入助成は、ジャケット、ボトムス、ネクタイの三点セットで、3年間に一度だけ利用できるのか。

また、多様性を認め合う制服ということで、リボン、ネクタイについても選択できた方が良いのではないかと。

A ブレザーとストラックスマまたはスカート、ネクタイまたはリボンの三点セットの補助で、3年間で1度助成する。

付属品のネクタイ及びリボンも自由に選択してもいいだろうと現時点では考えている。

令和6年度 各会計補正予算

会計名	補正額	総額
一般会計	4,072万円	51億2,929万円
特別会計	国保事業勘定	3億3,165万円
	介護保険事業勘定	3億4,688万円
事業会計	簡易水道事業	3億2,222万円
	公共下水道事業	2億2,115万円

令和5年度 各会計決算を認定

～ 主な質疑・答弁 ～

9/10

●生活交通確保対策事業

Q 陸別町の負担金は、十勝バスが1千239

9万4千円であり、帯広市、北見市近隣の町にとっては重荷になると推測するが、路線維持について他町から何か話がでているのか。

また、今後も負担増となることも地域間幹線系統路線は、維持していくのか。

A 毎年、沿線の市町が集まって協議を重ね、この路線を維持するという同じ考えの下で取り組んでいる。年々負担が大きくなっているのも事実であるが、今後も重要な地域の足となる幹線路線を、何とか維持していくためバス事業者にも経営努力をしていただ

きながら、不足する部分については沿線自治体でなんとか支えていきたい。

また、バス会社も含めて協議会等で協議をしており、沿線で足並みを揃えることも重要で、どこの町も負担増を望んでいないので、連携を取りながら幹線維持に向けて、これからも進んでいきたい。

〈直診会計〉

●診療所入院患者数減

Q 入院患者数が一昨年の9月以降大きく減少

している。医療スタッフ確保の関係でこのような状況になっているが、早期に改善する必要があると思う。入院患者を受けるには、医療スタッフをどの状態まで改善できれば可能なのか。

A 現在の看護師数については、正職員7名(うち1名が育休中)、会計年度任用職員の日勤専門看護師2名、派遣で日勤夜勤の看護師2名が看護スタッフとして働いている。以前のように入院、外来、救急を受けることを総合的に判断すると、正職員をあと3名程度確保できれば、以前のような診療体制が組めて、有床診療所としての使命を最低限果たすことができると考えている。



▶通学や通院など住民生活には欠かせない路線バス



令和5年度 各会計の決算の状況

(単位：万円 千円以下端数処理)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引余剰金	繰越明許費繰越額	一般会計からの支援額	実質に近い収支	
一般会計	60億0,973	58億6,557	9,494	869	-	9,494	
特別会計	国保事業勘定	3億3,041	3億2,944	96	0	915	△819
	国保直診勘定	3億3,014	3億0,759	2,254	0	1億7,154	△1億4,898
	簡易水道事業	1億9,130	1億7,619	1,511	0	5,646	△4,135
	公共下水道事業	1億3,030	1億2,020	1,009	0	4,109	△3,100
	介護保険事業勘定	3億5,130	3億2,214	2,915	0	0	2,915
	後期高齢者医療	5,289	5,250	38	0	0	38

一般質問

9月定例会では2人の議員が一般質問を行い、町政を問いました。その内容を要約して掲載します。

新規就農者確保対策と

外国人労働者への対応は

工藤 哲男 議員

問 8月3日、札幌において新規就農フェアが開催され町から町長、農協組合長が就農者の相談に対応していたが、今後フェアにおいて直接、就農相談対応を継続するのか。また、新規就農者確保は基幹産業を守る意味で重要だが、その体制をどのように考

答 公約にトップセールスを掲げているが、その一つと考えている。農協組合長と参加することで即決即断の対応が取れることや、就農を考えている方の家族に当町の子育て支援等の質問対応がストリートにできる。一年で5回ほどフェア

更



▶町長と農協組合長も参加した新規就農フェア

アがあり、できる限り継続参加を続けていく。

新規就農者受け入れ窓口は、陸別町農林推進協議会であり、過去25年で8組の就農者を受け入れているが、更に機能を充実させたい。新規就農者受け入れの施設の受け皿確保は、農林推進協議会・農協・町との連携のもとに情報を共有しながら確保していきたい。

問 町内において外国人労働者が増えているが、外国人受け入れ雇用主、各関係団体、外国人本人との意見交換等を行っているのか。他の町ではアンケートを実施してご意見を聞いている町もある。今後、国策で3〜4年後には少子化による労働力不足対策として、外国人労働者確保の「育成就労」制度となり最高5年以上在留、又は、在留上限無しとなり定住増加と永住が可能になるが、外国人との多文化共生、日本文化紹介、日本語教育体制等を考

答 いま、外国人労働者

えるべきではないか。

町長 は町内雇用主各位の努力で確保されている。8月29日現在、特定技能外国人は27名、技能実習生38名、その他8名と、町内には73名の外国人が在留されている。現在、意見交換は実施していないが必要性は感じている。陸別町の楽しみ方、不安対応など様々なケアの必要性があると推察する。雇用主からは政策面でハイヤー利用助成に関して役立っていると聞いている。交流については、ご意見を募り温かい対応策を探りたい。アンケートをとることも参考にしながら進んでいきたい。

外国人労働者によって町の経済が成り立っている状況を勘案し、定住に向けた検討していく。また、外国人労働者だけでなく日本人労働者でも、誰もが住みやすい政策を進めていきたい。



ここが聞きたい

市街地における

住民の道路横断安全確保について

谷 郁司 議員

るのか。



▲ 白線が消えている横断歩道（役場前）

問 車と人との不慮の事故により犠牲者が出ないように、道路を横断する際の規則がある。警察によると7割が横断中の事故発生と言われている。交通規則基準には、信号機、道路標識、横断標示等の記載がある。また、道路交通法第38条には、横断歩道では歩行者優先となり、運転者には歩行者がいる場合の対応方法等が示されている。

近年、十勝オホーツク自動車道の通行により交通量が増加し、また、津別方面からの大型車の往来も多い。当町は市街地の南北に国道が縦断しており、これに接続する道道が3路線ある。これらの横断歩道の標示が消えかかっている箇所や全く消えてわからない箇所があるが、どういった認識でい

町長 現在、市街地で15箇所の交差点に25本の横断歩道があり、消えている箇所があるのは事実である。改善要望はしているが緊急性や優先順位もあるので時間がかかると思っている。今後も引き続き要望していく。

ていきたい。

問 通学歩道に木の枝がかぶさっている箇所や小学校前の信号機に傾きがあるが、その対応は。

町長 木の枝は所有者に対して伐採を依頼するしかないかと思っている。信号機の修繕は何度も要望をしており、年度内に修繕される見込みであると本別警察署の地域交通課から回答を得ている。

問 住みよい町として町民が安心して車の運転や歩行者が道路横断できるように各機関に提言して欲しい。

町長 普通に何事も起きないでいることが当たり前だが、大きなことが起きる前に防げることもある。行政として至らなかつたことを正直に申し上げ、改善していくのが必要なことであると思っている。これからも様々な意見を頂きたい。

問 規則基準では、学校、病院、公共施設、商店に行く箇所での横断歩道設置となっている。また、警察庁は令和6年5月30日の方針として、横断標示（白線の幅）を現在の45cmから90cmに広げ、一時停止の所は路面標示のみでも可能とし、設置費用の削減にもつながるとしている。

中学生からの要望にあったが、役場庁舎から保健センター・診療所に行くための横断歩道の新設について伺う。

町長 過去にも要望があり、当時は設置に向けて進んでいた経緯がある。しかし設置まで至っていない。必要な場所と考えているので、設置に向けて要望をし

産業常任委員会 行政視察報告

津別町複合施設と 小清水町複合庁舎視察

産業常任委員会

委員長 工藤 哲男

10月3日、産業常任委員会の行政視察を開催した。

視察の目的は、町内行政施設老朽化に伴う課題解決に対して、また、陸別町民の行政施設に関しての要望を検討の参考とする行政施設視察とし、視察先は、昨年より稼働した津別町の複合施設「ウッドリウム」と小清水町の防災拠点型複合庁舎「ワタシノ」の2か所とした。

津別町

「ウッドリウム」

津別町の複合施設「ウッドリウム」は、スーパーマーケット、図書館、イベント会議開催広場、公共交通拠点と4つの機能を備えた施設であり、昨年5月より稼働している施設で、津別町の「まち



▶バスを待つ間に買い物や読書もできる施設

なか再生事業」の取り組みから作られ協議会を設置、議会は特別委員会を設置し、町民アンケート、自治会単位で全町民対象の住民説明会を重ね、一部反対運動もあつたが説明を重ね完成に至り、事業は設計、建築を一つの企業に任せ出来た施設を買い取るプロポーザル方式としている。

町民利用は、概ね好評と判断され図書館利用人数も増え、今後利用者アンケートを実施している。

また、津別町の「まちなか再生事業」の取り組みでは、ホームセンター、ドラッグストアの誘致にも成功している。

小清水町

「ワタシノ」

防災拠点型複合庁舎として建設された小清水町の「ワタシノ」は、平時と災害時どちらも使える「フェーズフリー」施設であり、庁舎内はフットネスジム・カフェ・コインランドリーが完備されて全て大手企業誘致となっている。

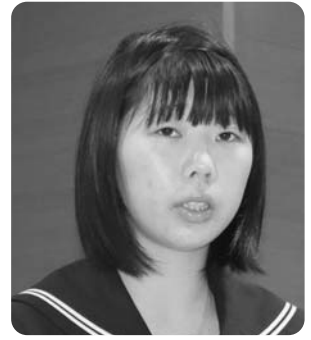
取り組みは胆振東部地震によるブラックアウトが発生したことから「災害に強いまちづくり」を基本とし、町民が集える場所として住民アンケートを実施し、ジム・カフェ・ランドリーが整備されているが、災害時の考え方は、ジムはシャワーを含め一時避難場所、カフェは炊き出しの場、ランドリーは洗濯場所としており、施



▲ 役場の中にコインランドリーやカフェ

設全体の暖房は温泉熱の利用とし、庁舎の近くにはドラッグストアの誘致も成功し、災害避難物資の保管場所として考えている。ジム、ランドリーは他町村からの利用も増え、施設は「地域おこし協力隊」8名が働きフェーズフリー施設は町民も納得し利用も増えている。

視察を終え、行政施設は町民の集う場所として利用価値を考え、民意の元に丁寧に行う必要性を感じた視察であつた。



陸別中学校3年生が模擬議会を体験 ～中学生の想いを町政に～

中学生模擬議会が10月24日に議場で行われ、次代を担う中学3年生が模擬議会の体験を通して、地方自治の仕組みや町議会の役割などを学びました。

緊張した面持ちながらも、代表者が議員席から「しばれフェスティバル」「道の駅グレードアップ」「陸別町のPR」「農業担い手」「保健センター前庭に噴水設置」「町民運動会の再開」などについて質問し、町の管理職等が分かりやすく答弁しました。



◀ 議員席に座る中学3年生



▲ 中学生からの質問に濱田委員長が回答

【陸中議員来校】
**総務常任委員長に
 議員の仕事等を質問**
 8月26日に陸別中学校の5時間目の授業において、生徒からの質問に議会議員が回答する「議員来校」が行われました。
 生徒からは、『議員になってよかったこと』、『議員さんが陸別に足りないと思うものは何か』、『議会を行う上で一番大切なことは何か』等々の質問があり、濱田総務常任委員長が生徒からの質問に対して、真剣に回答しました。



《町長より一言》

人に自分の思いを伝えるというのは、すごく難しいことで、それが伝わって初めて質問になったりだとか、私たちの方も答えが本当に伝わったのか、そういうことにもものすごくエネルギーを使っていて、自分が理解していても相手が理解しないと何の意味もなくなってしまうりだとか、そういうことが起きると思っています。

今日の皆さんの質問をすべて聞いていて、本当に分かりやすいし、すごく色々な考えを持っていると思いました。非常に皆さん素晴らしくて勉強になりました。



生徒代表挨拶

羽根田 春花 さん

本日の模擬議会を通して説明をいただいたり、討論などしていただき、「難しいな」、「大変だな」とか、「こうやってやったら伝わるのかな」など、たくさん学ぶことができとても貴重な経験だったのではないかなと思います。この提案を用意するにあたって、陸別町の現状や課題などを私たち自身も見直し理解することができ、故郷について、もっともっと勉強していきたいななど、そういう思いを持った人たちも、こちらの生徒の中にもたくさんいたと思います。本日はお忙しい中、私たちのためにありがとうございました。



条例・その他の審議結果

件名	審議結果
第4回臨時会（8/5） ● 工事請負契約の締結について（陸別町橋梁長寿命化緑橋補修工事）	可 決
9月定例会（9/3～11） ● 固定資産評価審査委員会委員の選任について 2件 ● 町道路線の廃止について	同 意 可 決
第5回臨時会（10/16） ● 専決処分の承認を求めることについて〔令和6年度一般会計補正予算（第5号）〕 ● 重度心身障害者並びにひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例 ● 陸別町国民健康保険条例の一部を改正する条例	承 認 可 決 可 決

委員の任命

● 固定資産評価審査委員会委員に、共栄第2の佐藤秀昭さん（再任）、大通の児玉知美さん（新任）を選任することに同意しました。

臨時会

第4回臨時会が、8月5日に開催され、工事請負契約の締結について1件を審議し、原案のとおり可決しました。

第5回臨時会が10月16日に開催され、専決処分の承認1件、条例の一部改正2件、一般会計補正予算1件を審議し、原案のとおり承認または可決しました。

- 〈一般会計補正予算〉
- 農業者緊急支援事業 4千732万円
 - 小規模企業等振興事業 300万円

可決した意見書

● 国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

議会の動き

【8月】

5日 第4回臨時会

議会運営委員会

総務常任委員会

30日 議会運営委員会

【9月】

3日 9月定例会

議員協議会

総務常任委員会

4日 9月定例会

議会運営委員会

10日 9月定例会

議会運営委員会

11日 9月定例会

議会運営委員会

（広報編集会議）

【10月】

3日 産業常任委員会

道内行政視察

（津別町、小清水町）

16日

議会運営委員会


第5回臨時会

18日 産業常任委員会
議会とお話ししませ
んか

22日 議会運営委員会
（広報編集会議）

30日 十勝町村議会議長会
主催議員研修会
（清水町）

次回の定例会は12月に開催されます。詳しい日程等は議会事務局にお問い合わせ願います。皆さんの傍聴をお待ちしております。



陸別町議会 ホームページ のご案内



【陸別町議会ホームページ】
<https://www.rikubetsu.jp/gikai/>

